

政策分野/担当部署		具体的な施策	目的	KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27年度)	目標値	H28年度の実績値	H29年度の実績値	H30年度の実績見込	H30年度の検証結果(見込)	H31年度以降の見込	今後の方針	暫定評価	
暫定評価の理由														
ひとの育成	総合政策課	1-1	中学生と高校生の地方創生参画推進事業	志摩市在住の中学生及び高校生を対象に、志摩市の現状や地方創生の必要性を伝えるとともに、彼らの意向を把握して、地域に戻る、地域に誇りを持つ次世代の育成を推進する。	・全ての中学校で地方創生に関する説明会 ・地域に誇りを持つ生徒の割合と将来は地域に暮らしたいという生徒の割合	- 誇りを感じる75.3% 暮らしたい51.2%	毎年1回以上開催 誇りを感じる80%以上 暮らしたい70%以上	1校 誇りを感じる79.3% 暮らしたい51.7%	2校 誇りを感じる81.5% 暮らしたい68.0%	2校 誇りを感じる80%程度 暮らしたい70%程度	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【A】 大きな効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続
	介護・総合相談支援課	1-2	介護予防ボランティアでポイント事業	世代を超えた交流や地域とのつながりがもてる活動を地域支援事業に加えることで、自ら介護予防をしながら健康寿命を延ばす高齢者だけでなく、介護に関して広く関心をもつ市民を育成する。	・地域支援ボランティアとして活動する人の数 ・ボランティア活動に参加した年間の通算人数	0人 0人	毎年500人以上 年間3,000人以上	232人 (翌年1月以降の把握)	263人 2,685人	312人 3,185人	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	
	観光商工課	1-3	がんばる市民を応援する事業	意欲的に技術や能力を高めようという市民を支援して、市民のパフォーマンスを向上させるとともに、そうした人材のネットワークを構築する。	・助成事業による年間の資格取得者数 ・奨励事業による指定資格の取得者数 ・資格取得者のネットワーク	- - 構築されていない	50人以上 目標の80%以上 構築されている	実績なし(要綱整備のみ) 実績なし(要綱整備のみ) 実績なし(要綱整備のみ)	3人 10% 構築されていない	3人 40% 構築していない	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続
	総合政策課	1-4	地域とのつながりによる県立高校の魅力向上事業	地域と市内の高校(志摩高校及び水産高校)のつながりを強化して、地域を知る機会と地域で活躍する機会を在校生に提供するとともに、地域が高校について知る機会も創出することで、地域の高校の魅力向上させ、卒業しても地域のために何かをしたいと思ってくれる若者を育てる。	・地域と高校で魅力向上のための対策が検討されている ・両校の生徒が活躍する機会 ・インターンとして生徒を受け入れてくれる事業者の数	検討されていない - -	検討されている 年10回以上 延べ20者以上	検討されている 7回 19者	検討されている 11回 12者	検討されている 12回 15者	【A】 目標値を達成し、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	
	健康推進課	1-5	二十歳からの健康貯蓄事業	健康に対する意識が比較的低い傾向にある20代と30代を対象に、集団健診の機会を提供することで、健康づくりの大切さを認識し、自ら重症化を予防することを心がける健康的な生産年齢世代を育成する。	・定期的に健康診査を受けようと思う人の割合 ・健康診査の受診者に占める再受診の割合	71.0% 30%	毎年50%以上 毎年45%以上	71.0% (H30年度からの把握)	88.4% 実績なし(H30年度からの把握)	91.0% 25.4%	【A】 目標値を達成し、効果があった。	【A】 大きな効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続
	総合政策課	1-6	心豊かな暮らしを育む人材育成事業	志摩の自然や風土に根差した志摩ならではの心豊かな暮らし方を考案し、それらを実現させるとともに、もって持続可能な社会の構築に寄与することを目的とする。	・考案されたライフスタイルの数 ・心豊かな暮らし方の実践に向けた取り組みの数	- -	延べ200以上 延べ6件以上	延べ60 実績なし	延べ76 延べ2件	延べ76 延べ3件	【D】 目標値に達せず、効果がなかった。	【C】 あまり効果が期待できない。	【B】 事業の見直し	
	総合政策課	1-7	大学等との連携による人材育成推進事業	志摩市と連携協力を結んでいる大学等と連携し、学びの場として志摩市を活用していただくための環境整備に取り組み、市民との交流をはじめ、大学間や異業種間の連携を進めることで交流人口の拡大を図る。そのなかから導き出される地域課題の解決や地場産業の推進等に繋げていくための取り組みに関する支援を行い、志摩市に貢献できる人材を育成することを目的とする。	・志摩市を活用した大学生等の人数 ・交流会の開催回数 ・地域課題解決に向けた提案件数	- - -	年間20人以上 年間2回以上 年間1件以上	- - -	実績なし 実績なし 実績なし	実績なし 実績なし 実績なし	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続
	総合政策課	2-1	若者の希望を叶える志摩づくり事業	志摩市の若者と共に若者を確保するための施策を検討し、検討結果を市の施策に反映させることを通じて、若者の希望が叶うまちづくりを推進する。	・まとめられた事業(計画) ・取り組むことを決めた事業	- -	延べ8件以上 延べ4件以上	延べ3件 実績なし	延べ5件 延べ2件	延べ5件 延べ2件	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【D】 事業の終了	
	総合政策課	2-2	若い女性が暮らしやすい志摩づくり事業	若い女性にとって住みやすい、働きやすい地域にするための施策を女性と共に検討し、検討結果を市の施策に反映させることを通じて、若い女性が暮らしやすいまちづくりを推進する。	・検討結果の普及啓発を行った回数 ・改良または設計された施策の件数	- -	延べ4回以上 延べ8件以上	実績なし 実績なし	実績なし 実績なし	延べ3回 延べ1回	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続
	総合政策課	2-3	移住しやすい志摩づくり事業	志摩市に移住した人々と共に志摩市の移住しやすさや移住に伴う苦労についてとりまためて、その結果を市の施策に反映させて移住しやすいまちづくりを推進するとともに、多様な移住者のつながりを築く。	・情報提供や支援体制に対する移住希望者の満足度 ・支援体制に協力してくれる移住者の数	- -	H31に70%以上 H31に50人以上	実績なし 6人	実績なし 7人	実績なし 17人	【D】 目標値に達せず、効果がなかった。	【B】 効果が期待できる。	【B】 事業の見直し	
水産課	2-4	水産業の担い手受け入れ推進事業	志摩市内にある漁業集落に若者を受け入れる雰囲気醸成するとともに、新たに漁業に従事しようとする若者を支援して、各地域における漁業者を増やす。	・若者を受け入れる条件が整理された漁業集落の数 ・若者を受け入れた漁業集落の数	2集落 2集落	延べ5集落以上 延べ4集落以上	延べ2集落 延べ2集落	延べ3集落 延べ3集落	延べ3集落 延べ3集落	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続	
				カキ養殖業者の受け入れ要望のあった矢地区については、地域おこし協力隊の2名を受け入れ、現在、技術習得を継続して行っており、2年後にはカキ養殖業者としての独立が期待されている。新たに市外から漁業者を受け入れることで技術の継承と担い手の育成とともに志摩市の人口増加に繋がることから継続したい。										

政策分野/担当部署		具体的な施策	目的	KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27年度)	目標値	H28年度の実績値	H29年度の実績値	H30年度の実績見込	H30年度の検証結果(見込)	H31年度以降の見込	今後の方針	暫定評価	
暫定評価の理由														
ひとの確保	総合政策課	2-5	IJU(移住)ターン促進のための奨学金返済補助事業	奨学金を受けて大学等に進学し、卒業した若者の奨学金返済額の一部を補助することで、志摩市への若者の移住、定住を促進する。	・制度を利用した人の数	—	延べ100人以上	実績なし(要綱整備のみ)	延べ13人	延べ35人	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[B] 事業の見直し	[B] 見直して継続
	30年度の実績として、22人に対し2,440,000円の補助金を交付した。市内に移住・定住しやすい環境づくりを進めるという目的に対し、要件に「市内就労」を課していることが、補助金活用の阻害要因になっていると考えられていることから、補助金が活用されやすくなるように見直しを行う。													
	総合政策課	2-6	若者の集いと出会いの支援事業	志摩市に若者が集まるイベントを支援することで、若者の出会いや地域の魅力を若者が再発見する機会の創出を促す。	・支援したイベント等で集った若者の数	—	毎年200人以上	374人	432人	400人	[A] 目標値を達成し、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[B] 事業の見直し	[B] 見直して継続
	30年度は5事業の補助申請があった。若者の出逢いや地域の魅力を再発見するイベントが実施され、一定の成果が出ていると言えるが、今後は、各イベントが補助金なしでも継続できるようになっていくことを期待したい。													
都市計画課	2-7	家主と移住者のためのリノベーションによる空き家活用等事業	志摩市内の空き家のリノベーションを推進し空き家の活用を図るとともに、リフォームにも助成し移住者を増やす。	・リノベーション助成を利用して移住した件数	0件	延べ5件以上	延べ2件	延べ4件	延べ7件	[A] 目標値を達成し、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[D] 事業の終了	[E] 別事業で検討	
				・リフォーム助成を利用して移住した件数	0件	延べ15件以上	実績なし(要綱整備のみ)	延べ2件	延べ8件	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[D] 事業の終了		
平成27年度から31年度までの5年間事業を実施し、KPI値に近い成果が見込める。また、当課の住宅施策としては、27年5月に完全施行された空家特措法に基づき、空家等対策へ注力していくが、空家等対策計画における「空家等の利活用の促進」で、今後は移住政策と連携をとっていく。														
総合政策課	2-8	若者世代の移住促進事業	若者または中学校卒業前の子どもをもつ世帯の移住を促進し、若者世代を中心に社会減を抑制する。	・制度を利用して移住した件数	—	延べ5件以上	実績なし(要綱整備のみ)	延べ13件	延べ31件	[A] 目標値を達成し、効果があった。	[A] 大きな効果が期待できる。	[A] 事業の継続	[A] 継続	
施策策定時は商品券を想定しており、要綱策定にあたって家賃補助に切り替えた経緯がある。KPIについては、平成31年度の見直しの時点で、実績に基づき上方修正してもよいと思われる。募集時期について現在9月と3月としているが、3月募集については年度内の交付決定を行うにあたり審査期間がタイトであり、また3月にならないと全体助成額がはきりしないことから不用額が多くなっている。そのため、現在の9月、3月を10月、4月に改めれば暴力団の照会などの期間が確保でき、また年度内の補正予算で調整が可能となるため、31年度の実績の見直しをした方がよいと思われる。現在、この要綱は32年3月31日で終了し、それまでに申請した方の残期間の受付となるが、要綱を見直して継続した場合、旧制度の方への暫定措置などの案文を加える必要がある。														
農林課	2-9	農業の担い手受け入れ推進事業	志摩市内で新たに農業に従事する人を増やすとともに、農業を伝える人材を育成することで、農産物の生産量を増やし、持続可能な農業の確立を図ることを目的とする。	・生産指導を行う既存の農業者(個人又は団体の数)	—	3者以上	実績なし	2者	2者	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[A] 事業の継続	[A] 継続	
				・新たに農業に従事した者の数	—	6人以上	実績なし	1人	0人	[D] 目標値に達せず、効果がなかった。	[B] 効果が期待できる。	[A] 事業の継続		
				・生産量が増加した農産物の数	—	3種類以上	実績なし	実績なし	実績なし	[D] 目標値に達せず、効果がなかった。	[B] 効果が期待できる。	[A] 事業の継続		
いちご・芋(きんこ)農家後継者については、新しい隊員が任務に就くため、再度、鳥羽志摩農協と協議が必要である。水稲後継者については、南張自治会と南南張農産との連携のもと、進める方向で考えている。														
市長公室	3-1	志摩市ホームページの魅力向上事業	志摩市のホームページ運営において、市民や志摩市と交流のある市外の人の協力を得て、志摩市の魅力を発信するとともに掲載内容の面白さを追求し、志摩市に興味を持ってくれる人を増やす。	・HPの年間アクセス数	300,000件	年間430,000件以上	425,256件	438,123件	447,390件	[A] 目標値を達成し、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[A] 事業の継続	[A] 継続	
				・HPへの市民による年間投稿件数	—	年間300件以上	32件	11件	50件	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[A] 事業の継続		
				・HPが見やすいと答えた人の割合	—	毎年80%以上	17.9%	32.4%	38.9%(速報値)	[D] 目標値に達せず、効果がなかった。	[B] 効果が期待できる。	[A] 事業の継続		
HPへのアクセス件数は目標を上回ったが、投稿件数・見やすいと答えた人の割合は目標を下回った。個別では目標数値をクリアできていない項目もあるが、問合せフォームを設置して市に対して問い合わせることにより、多少なりとも関心をもってくださるきっかけとなり、全体的には志摩市に興味をもってくださる人は増加傾向にあると思われ、ある程度の効果は期待できる。														
総合政策課 市長公室	3-2	きらり志摩びと紹介事業	志摩市内外のあらゆる分野で活躍している人やその分野に精通している人を、広く市民に紹介するとともに、活躍する人同士のつながりを豊かにする。	・番組や広報紙等で紹介した人や団体の数	—	延べ50以上	延べ21	延べ38	延べ47	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[B] 事業の見直し	[B] 見直して継続	
				・番組や広報紙等を見た市民の割合	—	毎年各50%以上	番組:32.0% 広報:53.8%	番組:41.1% 広報:81.4%	番組:42.6%(速報値) 広報:78.5%(速報値)	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[B] 事業の見直し		
				・番組や広報紙等で紹介した人々のネットワーク	構築されていない	構築されている	構築されていない	構築されていない	構築されている	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[B] 事業の見直し		
番組の放映及び広報紙での紹介は定期的には実施できたが、番組の視聴割合は目標値には達することができなかった。リレー方式による出演者の紹介や出演者に集まっていたの交流会の開催など、人的ネットワークの構築を図るよう努めた。市内で活躍されている方にスポットを当てて紹介することは、人材の掘り起しやネットワーク形成にもつながるため、継続していきたい。														
総合政策課	3-3	地域の資源を活用するためのプラットフォーム創出事業	様々な知識、経験、技術及びアイデアを有する市内の人や団体が連携できる場(プラットフォーム)を創出することで、地域の再発見と地域の資源を生かす市民の協働を促す。	・プラットフォームに参加している人の数	—	延べ100人以上	102人	183人	100人	[A] 目標値を達成し、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[B] 事業の見直し	[B] 見直して継続	
				・プラットフォームを通じて生み出された協働の数	—	延べ10件以上	実績なし	実績なし	実績なし	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[B] 事業の見直し		
30年度は、商工会、観光協会、農協への事業説明とヒアリングによりニーズの把握を行い、食や観光、6次産業化を視座に講演会を開催(予定)したが、31年度については、年度当初に各課に対してニーズの調査をし、各部署が周知を図りたい内容についての講座を実施したい。当事業については、民間事業者等の協働の取組のきっかけづくりとしては可能性はあるかもしれないが、KPIが求めるような協働の創出となると結果が伴う可能性が低く、見直しが必要と考える。														
農林課	3-4	農産物の生産実態把握事業	市内で生産される農産物について、産品別の生産量と生産額を把握するとともに、販売場所、流通経路等も把握する。	・調査に協力してくれた人の割合	—	調査実施時に70%以上	18.1%	実績なし	実績なし	[D] 目標値に達せず、効果がなかった。	[C] あまり効果が期待できない。	[B] 事業の見直し	[B] 見直して継続	
・生産量及び生産額、並びにそれらの物流の把握	把握できていない	把握できている	部分的に把握している	実績なし	実績なし	[D] 目標値に達せず、効果がなかった。	[C] あまり効果が期待できない。	[B] 事業の見直し						
平成28年度に実施した規模の実態把握調査を毎年度実施することは現実的に難しいと考えている。そのため、実施するのであれば鳥羽志摩農協等の関係者との協議のもと、効果的な手法を改めて検討する必要がある。														
教育総務課 (学校給食センター)	3-5	志摩市の食材を活かした食育推進事業	子どもたちが地元食材を使った給食を食べる機会を増やすとともに、志摩の「食」や生産者等との交流を通じて、子どもたちに地域の魅力に気づいてもらう。	・学校給食における地場産物の活用状況	—	志摩市産5%以上 三重県産35%以上	—	志摩市産2.45% 三重県産28.3%	志摩市産3.90% 三重県産35.9%	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[A] 事業の継続	[A] 継続	
				・生産者交流会の実施回数	—	年間6回以上	—	年間4回	年間5回	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[A] 事業の継続		
毎月1回の志摩産給食等において地場産物を使用することで、児童生徒に広くPRでき、また、生産者交流会は度々テレビ、新聞に取り上げていただいたこともあり、数値以上に効果があった。地場産物の活用状況での志摩市産については、3000食を超える共同調理場での特定された資材の確保は困難であり、給食で使用できる志摩市産の食材は限られた物しかなく、目標値に達しなかったことはやむを得ないと考えられる。生産者交流会は、31年度は6回の実施を予定しており、31年度は6回の実施を予定している。なお、志摩市産の食材の確保が簡単ではなく、献立のマンネリ化が懸念される。事業の継続に当たり、新しい食材の確保が理想である中、まだ目標は立っていないが、事業自体は十分な成果と効果があり、継続と判断した。														
総合政策課	4-1	ふるさと応援寄附推進事業	「ふるさと納税」の仕組みを活用して、志摩市内の事業者の生産品の販路拡大と志摩市に訪れる機会の創出を行うことで地域経済の活性化を図るとともに、消費者ニーズを踏まえた商品開発やサービスの向上を促す。	・年間の経済波及効果	3.5億円	毎年3億円以上	3.7億円	1.1億円	3,000万円	[B] 目標値に達しなかったが、効果があった。	[B] 効果が期待できる。	[A] 事業の継続	[A] 継続	
				・最初に返礼品を出荷した年に比べてふるさと応援寄附の返礼品の出荷が原因で、事業者の取り扱う商品が増加している事業者の割合	100%	毎年70%以上	把握していない	実施していない	実施していない	[E] 実施していない。	[E] 実施できない。	[A] 事業の継続		
目標値には達していないが、志摩市の特産品や志摩市の魅力は発信でき、その収益は市内に落ちている。年間の経済波及効果については、寄附受入額の3割を事業者を支払うこととなるためこの額を計上している。返礼品の出荷が原因で事業者の取り扱う商品が増加したかの調査については、初年度調査の際、お礼の品をピックアップして算出することが困難である事業者が多数であり把握出来ないため実施していないが、明確な数値は出せないし少なからず効果はあると思われることから、事業を継続する。														
農林課 水産課	4-2	生産物の販路拡大による農林水産業活性化事業	都市部や観光客のニーズに応じた生産物の販路を検討し、消費者を意識する生産者を育成することで、生産者の利益を高める販路の拡大を推進して、農林水産業を活性化させる。	・ニーズを踏まえて販路拡大に取り組んだ生産物の数	—	延べ10品目以上	延べ17品目	延べ25品目						
				・販路が拡大できた生産物の数	—	延べ5品目以上	延べ1品目	延べ1品目						

政策分野/担当部署		具体的な施策		目的	KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27年度)	目標値	H28年度の実績値	H29年度の実績値	H30年度の実績見込	H30年度の検証結果(見込)	H31年度以降の見込	今後の方針	暫定評価	
暫定評価の理由															
しんりんの強化	農林課	4-2	生産物の販路拡大による農林水産業活性化事業	都市部や観光客のニーズに応じた生産物の販路を検討し、消費者を意識する生産者を育成することで、生産者の利益を高める販路の拡大を推進して、農林水産業を活性化させる。	・ニーズを踏まえて販路拡大に取り組んだ生産物の数	-	延べ10品目以上	延べ17品目	延べ25品目	他部署での取り組みあり	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【C】 あまり効果が期待できない。	【B】 事業の見直し	【B】 見直して継続	
					・販路が拡大できた生産物の数	-	延べ5品目以上	延べ1品目	延べ1品目	把握していない	【D】 目標値に達せず、効果がなかった。	【C】 あまり効果が期待できない。	【B】 事業の見直し		
	本年度、首都圏でのPR活動は、農林課以外の部署が担ってくれたケースもあり、担当部署の考え方を整理する必要があると考える。														
	水産課	4-2	生産物の販路拡大による農林水産業活性化事業	都市部や観光客のニーズに応じた生産物の販路を検討し、消費者を意識する生産者を育成することで、生産者の利益を高める販路の拡大を推進して、農林水産業を活性化させる。	・ニーズを踏まえて販路拡大に取り組んだ生産物の数	-	延べ10品目以上	延べ17品目	延べ25品目	延べ29品目	【A】 目標値を達成し、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続	
					・販路が拡大できた生産物の数	-	延べ5品目以上	延べ1品目	延べ1品目	延べ1品目	【D】 目標値に達せず、効果がなかった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続		
	販路拡大に向け、イセエビ、アノリフグのポスターを制作しPR活動や、テレビなどのメディアで取り上げてもらったところ、市内外から問い合わせが多数寄せられた。販路拡大の効果の確認は、天候などに左右され漁獲量に変化があることから販売が促進されたのか判断するのは難しいが、販路拡大に向けた情報発信は必要と考える。また、サザエなどの多漁性水産物の新たな製品(缶詰)などの製品化に向け試験を継続したい。														
	農林課	4-3	農業生産者の強化と育成事業	効率的な農作物の栽培を支援することで、農業生産者の安定的な収益確保、就農者の増加、地産地消の推進を図る。また、地域の主要な担い手となる認定農業者等が安定的な営農活動を行うための支援策を講じることで、就農者の確保、耕作放棄地の抑制を図る。	・生産量と生産額を増やした農業生産者の数	4者	延べ20者以上	延べ8者	延べ10者	延べ20者	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【B】 見直して継続	
					・制度を活用した農業生産者でインターン等の若者を受け入れた数	-	延べ5人以上	実績なし	実績なし	実績なし	【D】 目標値に達せず、効果がなかった。	【C】 あまり効果が期待できない。	【B】 事業の見直し		
						・認定農業者数の減少率	-	5%未満	-	-	15%	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続
						・安定的な営農モデルの公表数	-	延べ5件以上	-	-	-	【E】 実施していない。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	
補助制度については、一定の実績が見込めたため、引き続き、制度の周知に努める。市内における営農可能なモデルの例示が行えるよう検討を進める。															
観光商工課	4-4	外国人観光客誘致推進事業	伊勢志摩地域としての観光拠点づくりを地域連携で推進するとともに、志摩市内における外国人観光客受け入れ環境の強化を図ることで、外国人観光客の多様化と増加を促し、地域の観光関連産業を成長させる。	・外国人観光客数	46,244人	H31に100,000人以上	68,780人	55,902人	51,834人	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続		
				・外国人観光客に占める東南アジアからの観光客の割合	5.9%	H31に20%程度	6.2%	6.3%	7.2%	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続			
					・外国人観光客に占める欧米からの観光客の割合	3.2%	H31に10%程度	8.8%	9.4%	14.0%	【A】 目標値を達成し、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続	
					・地域連携DMOの構築	構築されていない	構築されている	構築されていない	構築されていない	構築していない	【E】 実施していない。	【E】 実施できない。	【B】 事業の見直し		
外国人観光客誘致推進事業については、平成30年度実績は微増となっているが、関西国際空港の台風被害がなければ、実績は増えていたであろうと推察できるため、今後も継続実施する事で観光客数は期待できる。地域連携DMOの構築については、取得申請した伊勢志摩観光コンベンション機構に連携協力していくことで検討する。															
水産課	4-5	未活用資源等を利用した漁業振興事業	生業としての漁業の魅力さらにも高めるため、地域としての流通頻度の低い、または未活用、低価格となっている水産物(以下、「未活用資源等」という)を利用した資源管理型の漁業の可能性を検討し、試行を通じて漁業を振興する。	・未活用資源として定めた水産物を対象に資源管理型の漁業等を試行した件数	-	延べ2件以上	延べ1件	延べ1件	延べ1件	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続		
				・試行で得られた水揚げ高	-	延べ1,000万円以上	延べ530,100円	延べ2,149,470円	延べ2,234,970円	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続			
アカモクは、自然的要素に大きく左右され漁獲量が少量となる場合があるが、所得向上に向け少しずつであるが漁業者が取り組みに理解を示し継続して試験操業に取り組んでいる。最近では、メディアで取り上げられることが多くなったことから需要が増えている。資源管理を徹底しながら、新たな地区での試験操業が可能となるよう操業について推進し漁獲量の向上を目指したい。															
観光商工課	4-6	中小企業者等支援事業	志摩市内の中小企業者等による販路拡大や新規需要開拓の促進、また、経営基盤の強化や産業振興に寄与することを目的とする。	・商談会等に出展し、新しい販路を開拓した事業者の数	-	延べ15者以上	実績なし(要綱整備のみ)	延べ2者	延べ6者	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続		
				・商談会等に出展し、新規需要開拓に向け商談成立となった事業者数	-	延べ5者以上	実績なし(要綱整備のみ)	延べ1者	延べ4者	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続			
					・利子補給補助制度を活用した事業者数	-	延べ65者以上	-	-	延べ17者	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【D】 事業の終了	【A】 継続	
商談会等に出展し、当該補助金を申請する事業者数が目標値より少ない為、周知の仕方を再度見直す。															
里海推進室	4-7	御食国食文化展開事業	御食国(みけつく)としての歴史や食文化を活かして、農林漁業や観光業を活性化するための戦略を構築するとともに、食に関する価値ある地域資源の掘り起こしやその価値を伝えるための学びの機会を創出し、その結果、高付加価値化を図り、産業を活性化させることで、地域の価値ある生業を次世代に継承することを目的とする。	・歴史や食文化を活かした農林漁業や観光業を活性化するための戦略	-	構築されている	-	-	委託業務の中で策定中	【A】 目標値を達成し、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【D】 事業の終了	【B】 見直して継続		
				・スタディツアー(学びのプログラム)の構築数	-	H30に2件以上	-	-	2件	【A】 目標値を達成し、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【B】 事業の見直し			
					・後継者確保に向けて動き出した事業者数	-	H30に5者以上	-	-	各事業者とも後継者の確保には取り組んでいる状況	【C】 目標値を達成したが、効果はなかった。	【C】 あまり効果が期待できない。	【B】 事業の見直し	【B】 見直して継続	
平成30年度は、海外にも通用する御食国としての食文化を理解するための学びのプログラムの構築に初めて取り組んだが、そのノウハウを取得することに時間を要した。次年度以降は、取り組みに参加する事業者の拡大を図るための業務にも注力し、地域の価値ある生業を次世代に継承しようとする生産者・事業者を増やしていくことが必要となっている。															
しんりんの創出	観光商工課	5-1	志摩市を元気にする創業支援事業	市内の地域資源を活用するなどして、地域の活性化に資する事業を志摩市でおこそうとする者を、資金調達に関わる多様な主体と共に支援することで地域に仕事を創出する。また、クラウドファンディングを利用し、地域の活性化に資する事業を行った場合においても支援を行う。	・審査を行った件数	-	延べ10件以上	実績なし(要綱整備のみ)	延べ4件	延べ5件	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	【A】 継続	
					・創業等を実現した件数	-	延べ3件以上	実績なし(要綱整備のみ)	延べ4件	延べ5件	【A】 目標値を達成し、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続		
						・クラウドファンディング活用支援補助制度を利用し実施した地域の活性化に資する事業者数	-	延べ2件以上	-	-	延べ1件	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続	
創業やクラウドファンディングを行う事業者は、年間通して市内で併せて10事業者にも満たない現状であるが、この事業を継続することにより、創業や事業拡大の促進になるのであれば、長期的に考えれば地域経済の活性化に繋がる。															
観光商工課	5-2	鵜方駅周辺の賑わい復活事業	市内で最も乗降者数の多い鵜方駅周辺の空き店舗を活用した創業支援を実施して、駅周辺に賑やかさを取り戻すとともに、駅周辺を周遊する市民と観光客の数を増やして、仕事と雇用を創出する。	・鵜方駅周辺の店舗利用者数	H28に調査	H31に20%以上増加	未実施	0.8%減	2.8%増	【D】 目標値に達せず、効果がなかった。	【C】 あまり効果が期待できない。	【A】 事業の継続	【A】 継続		
				・鵜方駅周辺に活気を感じる人の割合	12.7%	毎年70%以上	12.0%	6.3%	25%	【B】 目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【A】 事業の継続			
					・鵜方駅周辺で新たに経営を始めた事業者数	H28に調査(H27分)	延べ2者以上	把握できていない	3者	4者	【E】 実施していない。	【E】 実施できない。	【B】 事業の見直し	【A】 継続	
KPIに設定されている「鵜方駅周辺に活気を感じる人の割合」は目標値には達していないが、昨年度より増加しているため、「鵜方駅前ちびつ子祭り」を中心とした賑わい作りとともに、新規事業者を増やす取り組みもできるようにしたい。															
総合政策課 観光商工課	5-3	志摩市におけるガイド業の創出事業	ガイド業という事業に対する関係者の理解を深め、志摩市の多様な自然や文化、地域ごとの街並みや暮らしなどを題材にした有償のツアーを実施する機会を設けて、ガイド業という事業の創出を促すとともに、観光ガイドアプリ等を活用してガイド業に携わる人と志摩市を訪れる観光客等をつなぐ仕組みを構築する。	・ガイド業で収入を得る人の数	-	H31に20人以上	実績なし	延べ5人	延べ5人	【D】 目標値に達せず、効果がなかった。	【C】 あまり効果が期待できない。	【B】 事業の見直し	【B】 見直して継続		
				・ガイドツアーを専門に扱う事業者数	-	H31に1者以上	実績なし	延べ1者	延べ1者	【A】 目標値を達成し、効果があった。	【B】 効果が期待できる。	【B】 事業の見直し			
有償ガイドに対するニーズを把握し、志摩市の特性を踏まえた上でターゲットの整理を行い、まああるきだけでなく体験型ツアーを含め、ガイドのあり方について再検討が必要である。ガイド業は単体で成り立つものではないことから、観光協会や観光事業者、宿泊施設等と連携して、観光地の魅力を増加させられるよう、見直しを行いたい。															

政策分野/担当部署		具体的な施策		目的	KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27年度)	目標値	H28年度の実績値	H29年度の実績値	H30年度の実績見込	H30年度の検証結果(見込)	H31年度以降の見込	今後の方針	暫定評価	
暫定評価の理由															
こころの創出	観光商工課	5-4	高齢者と障がい者とその家族等のための観光サービス創出事業	健康面に不安を抱えている高齢者や障がい者とその家族が、安心して観光できるサービスを、異業種間の連携を促すことを通じて、地域に構築する。	・高齢者や障がい者の観光を支援するサービスの構築	構築されていない	構築されている	構築されていない	構築されていない	構築されていない	【E】実施していない。	【E】実施できない。	【B】事業の見直し	【B】見直して継続	
					・高齢者や障がい者の観光を支援するサービスに参画する事業者の数	—	H31に50者以上	実績なし	実績なし	実績なし	【E】実施していない。	【E】実施できない。	【B】事業の見直し		
					サービスは構築されていないが、事業の進め方を見直し、宿泊施設のバリアフリー改修補助事業を実施している。平成30年度の実績は5施設となる見込みである。										
	農林課 水産課	5-5	6次産業化推進事業	生産者による生産量の増加、加工業者による商品開発及び販売業者による多様な販路の構築を支援することで、志摩市の農林水産物を活用した6次産業化を推進する。	・6次産業化に新たに参入した事業者の数	8者	延べ10者以上	延べ10者	延べ13者						
				・6次産業化により利益が増えたと感じる人の割合	70%	H31に80%以上	70%	75%							
	農林課	5-5	6次産業化推進事業	生産者による生産量の増加、加工業者による商品開発及び販売業者による多様な販路の構築を支援することで、志摩市の農林水産物を活用した6次産業化を推進する。	・6次産業化に新たに参入した事業者の数	8者	延べ10者以上	延べ10者	延べ13者	延べ14者	【B】目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【A】事業の継続	【A】継続	
				・6次産業化により利益が増えたと感じる人の割合	70%	H31に80%以上	70%	75%	—	—	【E】実施していない。	【E】実施できない。	【B】事業の見直し		
				6次産業化支援事業については、活用が期待できる農業者の発掘に努める必要がある。											
	水産課	5-5	6次産業化推進事業	生産者による生産量の増加、加工業者による商品開発及び販売業者による多様な販路の構築を支援することで、志摩市の農林水産物を活用した6次産業化を推進する。	・6次産業化に新たに参入した事業者の数	8者	延べ10者以上	延べ10者	延べ13者	延べ13者	【C】目標値を達成したが、効果はなかった。	【C】あまり効果が期待できない。	【B】事業の見直し	【B】見直して継続	
				・6次産業化により利益が増えたと感じる人の割合	70%	H31に80%以上	70%	75%	75%	75%	【D】目標値に達せず、効果がなかった。	【C】あまり効果が期待できない。	【B】事業の見直し		
				漁業は漁業者と漁協の相互扶助の関係で成り立っており、漁獲物は、漁協に水揚げ後、漁協の活動資金の一部となる賦金を支払った後でないと加工ができないことから、漁獲物を漁協を介在することなく加工販売することが難しい状況にある。漁業者は漁業が終わると次の漁の準備が必要で、時間が取れない状況にあり着手しても継続が難しいこと、加工を行うには食品営業許可が必要で許可される施設への改良或いは新築が必要があることから、漁業者には受け入れられにくい。6次産業化事業を「生産物の販路拡大による農林水産業活性化事業」のKPIの一つに組み入れることも検討したい。											
まちの形成	環境課	6-1	伊勢志摩国立公園の魅力向上事業	企業や市民団体等との連携のもと、伊勢志摩国立公園における美化運動、景観形成、自然公園施設の維持管理等を実施し、市民の環境意識の向上を図り、国立公園に暮らすという市民意識を高めるとともに、訪れる人も気持ちよく楽しめる環境のまちづくりを進める。	・参加する市民の数	—	年間1,500人以上	40人	実績なし	705人	【B】目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【A】事業の継続	【A】継続	
				・国立公園のなかで暮らしているということ意識している市民の割合	35.3%	毎年90%以上	34.9%	35.9%	37.8%(速報値)	37.8%(速報値)	【D】目標値に達せず、効果がなかった。	【C】あまり効果が期待できない。	【B】事業の見直し		
				今年度は国立公園の魅力を知っていただくとともにクリーンアップ活動を行うことを目的に、10月のコスモクリーンキャンペーンへの協力や3月に日進市との交流事業へ協力をしていく予定である。元々、目標値については自治会や企業が自主的に活動することを想定したものであり、全ての活動状況や参加人数等は把握できていないが、現実として各地区において清掃活動や除草作業等は行われている。しかし、当事業のみで、「国立公園のなかで暮らしている」ということを意識している市民の割合を90%以上にするのは難しいと思われる。											
	総合政策課 観光商工課	6-2	賢島の魅力発信力向上事業	賢島に関わる事業者の連携と創意工夫を促し、観光客のニーズと地域の特性を踏まえながら志摩の魅力を発信する拠点としての賢島の役割の強化を図る。	・賢島に関わる事業者の連携と創意工夫で取り組まれた事業数	—	延べ5件以上	1件	実績なし	延べ3件	【B】目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【B】事業の見直し	【B】見直して継続	
				・賢島を訪れる観光客のうち志摩市の魅力を感じてもらえた方の割合	65.9%	毎年80%以上	65.9%	実績なし	87.2%	87.2%	【A】目標値を達成し、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【B】事業の見直し		
				賢島地域の住民や事業者の協力を得て、賢島にゆかりのある作家である山崎豊子氏の企画展の開催や観光マップ「かじこじまっぶ」の作成を行ったが、本事業の目標とする地域主体の事業実施にまではつなげられなかった。賢島内では新たに店舗がオープンするなど民間投資が行われていることも踏まえ、今後は、新しい主体も含め、地域による取り組みが進むよう促していきたい。											
観光商工課	6-3	地域の特色を生かしたスポーツのまちづくり事業	市内各地域において、各地域の特色を生かせるスポーツの振興を通じて、市民と観光客の双方がスポーツを楽しめるまちづくりを推進する。	・地域の特色を生かしたスポーツ振興に取り組む地域の数	—	延べ20地域以上	延べ3地域	延べ3地域	延べ3地域	延べ3地域	【B】目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【B】事業の見直し	【A】継続	
			事業自体の効果は期待できるが、毎年同じ事業への支出となっている。事業の自立を促すためにも要綱や審査基準の変更について検討する。												
観光商工課	6-4	地域の魅力を見つけて生かす観光まちづくり事業	自然景観、歴史文化、街並み、日々の暮らし、人のつながり、地元ならではの食、古くからの生業など日常的な物事や当たり前のことを地域の観光資源として生かせる地域づくりを推進する。	・観光まちづくりに取り組む地域の数	—	延べ4地域以上	延べ1地域	延べ1地域	延べ1地域	延べ1地域	【D】目標値に達せず、効果がなかった。	【C】あまり効果が期待できない。	【B】事業の見直し	【B】見直して継続	
			・参画する主体のうち、観光客や観光客とふれあう機会の増加を実感している人の割合	—	H31に80%以上	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	【E】実施していない。	【C】あまり効果が期待できない。	【B】事業の見直し		
			和具地区において地元住民等による検討会がされているが、自発的な取り組みがなかなか難しい状況であるため、内容の検討が必要である。												
地域福祉課	6-5	生活拠点づくり事業	少子化と高齢化が進行する市内各地区において、住民と共に地区の現状やニーズを把握し、地区の課題を住民が主体となって解決できる仕組みを検討し、その実施の具体化を支援する。	・住民が主体となった地区の課題解決に取り組む地区の数	2地区	延べ4地区以上	延べ2地区	延べ3地区	延べ3地区	延べ3地区	【B】目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【A】事業の継続	【B】見直して継続	
			平成31年度も間崎地区での生活拠点づくり事業を継続して実施するが、離島振興の観点からも支援介入について庁内で連携した事業としていく必要があるため、事業の見直しを行い継続実施とする。												
総合政策課	6-6	これからの志摩市の地域交通検討事業	人口減少、高齢化率の上昇、外国人観光客等の増加など今後想定される志摩市の社会状況下において、市内各地域と駅、病院、学校、商業施設、観光スポットなどの拠点を結ぶ有効な地域交通のあり方を描く。	・将来に向けた有効な地域交通のあり方として提案する件数	—	延べ3件以上	実績なし	実績なし	実績なし	1件	【B】目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【A】事業の継続	【A】継続	
			住民・交通事業者・行政が協力して、一体的な計画のもとで事業を進めるための「志摩市地域公共交通網形成計画」を、31年度中旬に策定する。31年度以降は、具体的な施策を実施していく。												
保険年金課	6-7	子どもの医療費がかからないまちづくり事業	0歳児から中学生までの入院及び通院にかかる医療費を無償化することで、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図り、子育てしやすい環境を整備する。	・制度を利用している中学生の割合	92.0%	毎年90%以上	91.9%	99.3%	99.3%	99.3%	【A】目標値を達成し、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【A】事業の継続	【A】継続	
			・制度利用世帯に占める経済負担が軽減したと感じた割合	—	毎年100%	75.2%	83.1%	83.1%	83.1%	83.1%	【B】目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【A】事業の継続		
			中学生の医療費助成については平成25年4月診療分から入院に対して、平成27年9月診療分から通院に対しても助成を行うこととして、現在も継続して行っている。29年度のアンケート結果によると「制度を利用している中学生の割合」は28年度から7.4ポイント増、「制度利用世帯に占める経済負担が軽減したと感じた割合」は7.9ポイント増であり、これまでのところ順調に増加傾向が推測できることから30年度についても同程度の結果を見込むものである。												
総合政策課	6-8	市民や民間事業者による地域をおこすまちづくり支援事業	地域の特性を生かした地域振興に資する市民や民間事業者が主体となったまちづくり事業を促進することを目的とする。	・支援申請をした事業者等の数	—	延べ6件以上	実績なし(要綱整備のみ)	延べ1件	延べ1件	延べ1件	【B】目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【B】事業の見直し	【B】見直して継続	
			・事業に着手した補助対象事業の数	—	延べ2件以上	実績なし(要綱整備のみ)	実績なし(事業認定のみ)	延べ1件	延べ1件	延べ1件	【B】目標値に達しなかったが、効果があった。	【B】効果が期待できる。	【A】事業の継続		
			周知については、ホームページ・広報5月号にて事業募集し、9月号では活用事例の紹介と事業募集を再度実施した。講習会については、1月25日(金)に阿児アリーナにて実施し、講師に百五銀行、マクアケを迎えて参加者にクラウドファンディングについて事例を交えて説明した。募集事業の実施状況については、29年度認定の事業を、4月に資金調達を開始し5月に調達完了、7月に事業を完了している。新規の問い合わせについては、数件受けているが、申請には至っていない状況であるため、31年度については周知の方法を工夫したい。												